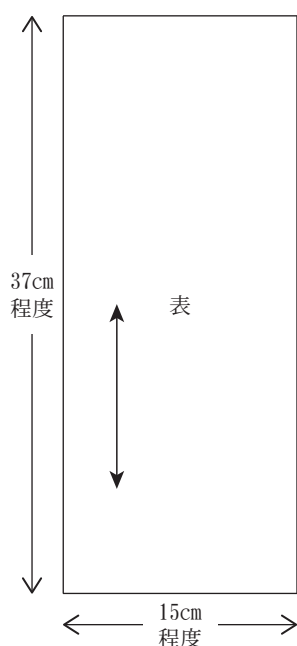
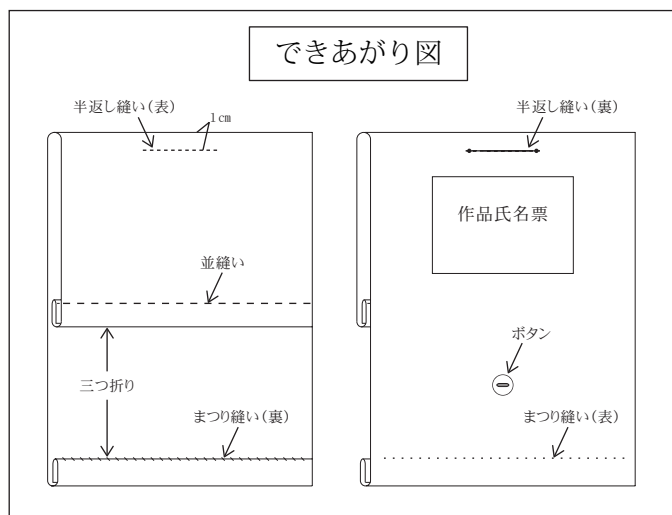
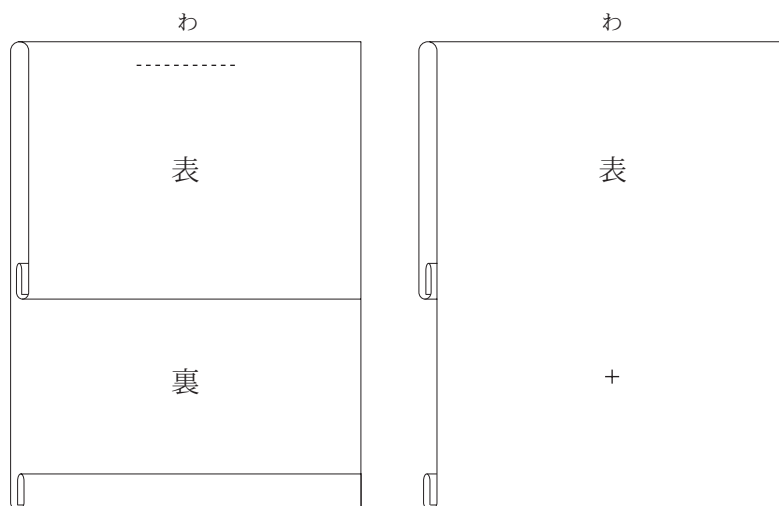


1 材料と用具

用布	綿ブロード・シーチングまたはそれに準ずるもの。サイズは長さ37cm、幅15cm程度とする。縫いしろのしまつはしなくてもよい。
糸	糸は目立つ色で、手縫い糸を用いる。 ボタンつけ糸は30番とする。 手縫いはすべて1本どりで行う。
ボタン	大きさは直径1.5cm程度で2つ穴を用いる。

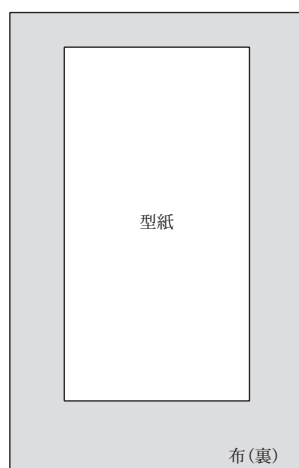


準備作業完了図 (Preparation work completed diagram)

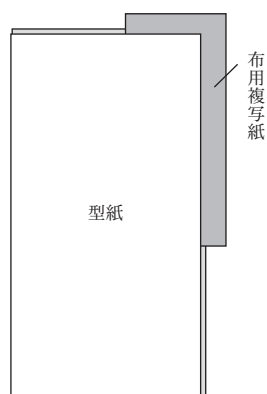


2 裁断・しるしつけ

① 布の裏面に型紙を置いて裁断する。



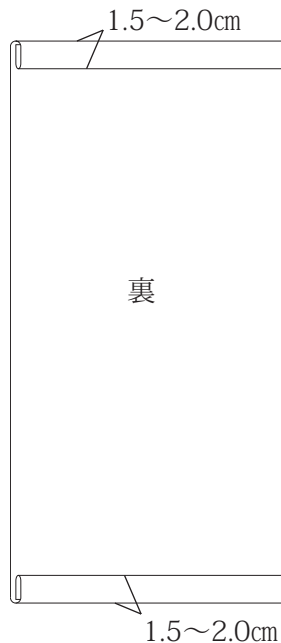
② 布と型紙の間に布用複写紙 (片面) をはさみ、布の裏にしるしをつける。



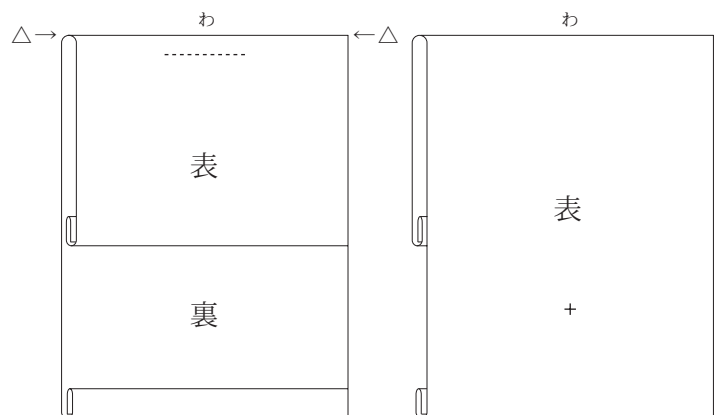
※ 半返し縫い・ボタンつけの位置は、布の下に布用複写紙を入れ、しるしをつける。



③短い方の布端を1.5～2.0cmの三つ折りにする。



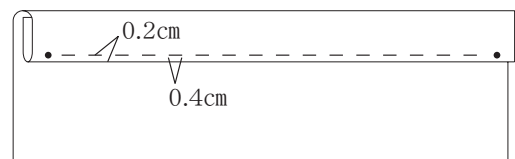
④ポケット口（△の位置）で外表に折る。



3 縫い方

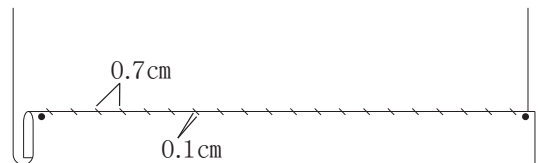
①並縫い

布の端から端まで（14cm以上）並縫いをする。
（しるしをつけてはいけない）
折り山より0.2cm内側に、0.4cm程度の針目で縫う。
糸こきをする（平らになるまで）。
縫い始めと終わりは玉どめをする。
玉どめはかくさなくてもよいが、表には出さない。



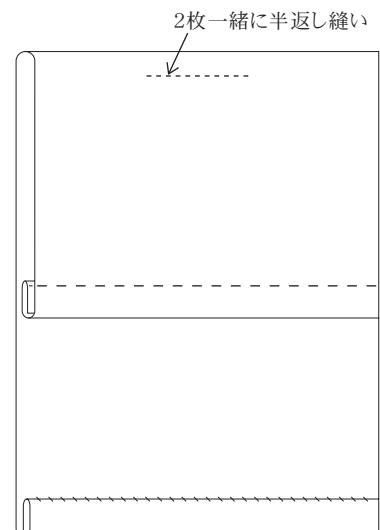
②まつり縫い

布の端から端まで（14cm以上）まつり縫いをする。
針目の間隔は0.7cm程度で、表目は0.1cm程度とする。
（折り山の0.1cm程度内側にまつり縫いをする）
縫い始めと終わりは玉どめをする。
玉どめはかくさなくてもよいが、表には出さない。
＊左ききの場合は目の向きが逆になる。



③半返し縫い

ポケット口を折った状態で、2枚一緒に半返し縫いをする。
半返し縫いのしるしがある方を表にする。
ポケット口の折り山から1cmの位置に4cm以上縫う。
針目は裏目0.6cm程度、表返し目0.2cm程度とする。
玉どめは裏目側にする。



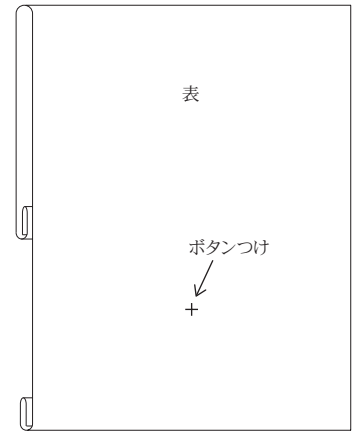
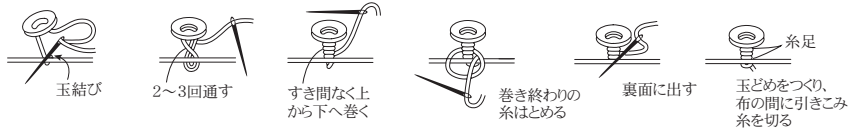
④ ボタンつけ

ボタンつけ位置（表）にボタンをつける。

糸は30番の糸1本どりで行う。

糸を3回かけ、糸足を3回程度巻き、しっかりつける。

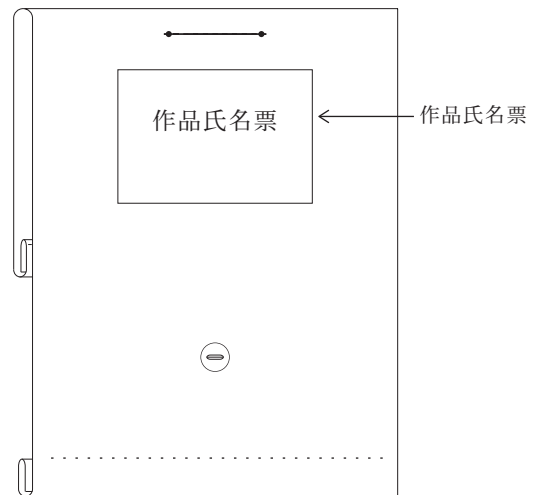
玉どめは布の裏側に出してもよい。



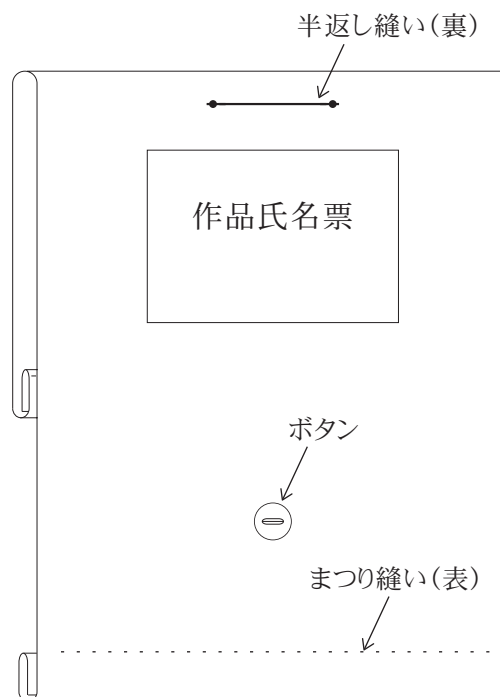
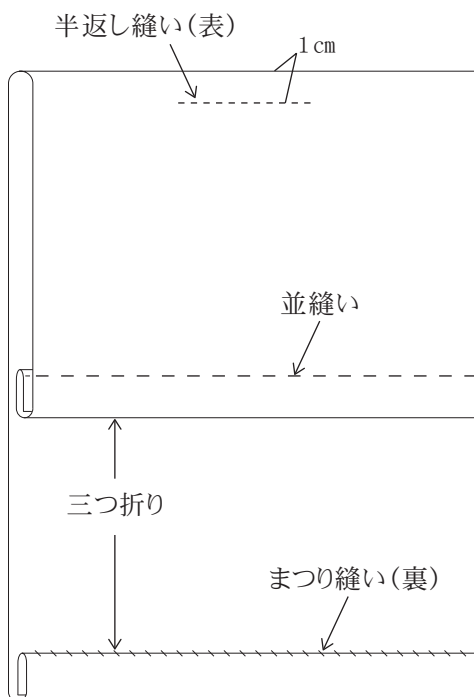
4 仕上げ

図の位置に作品氏名票を縫いつけて提出する。

アイロンがある場合は、アイロンをかける。



完成図（採点前）



5 ポケットティッシュケース（採点後）

ポケットティッシュケースに仕上げる。

(1) わき縫い

①（2つ山じるし）で折る。

①と①'をつまみ、折って合わせる。

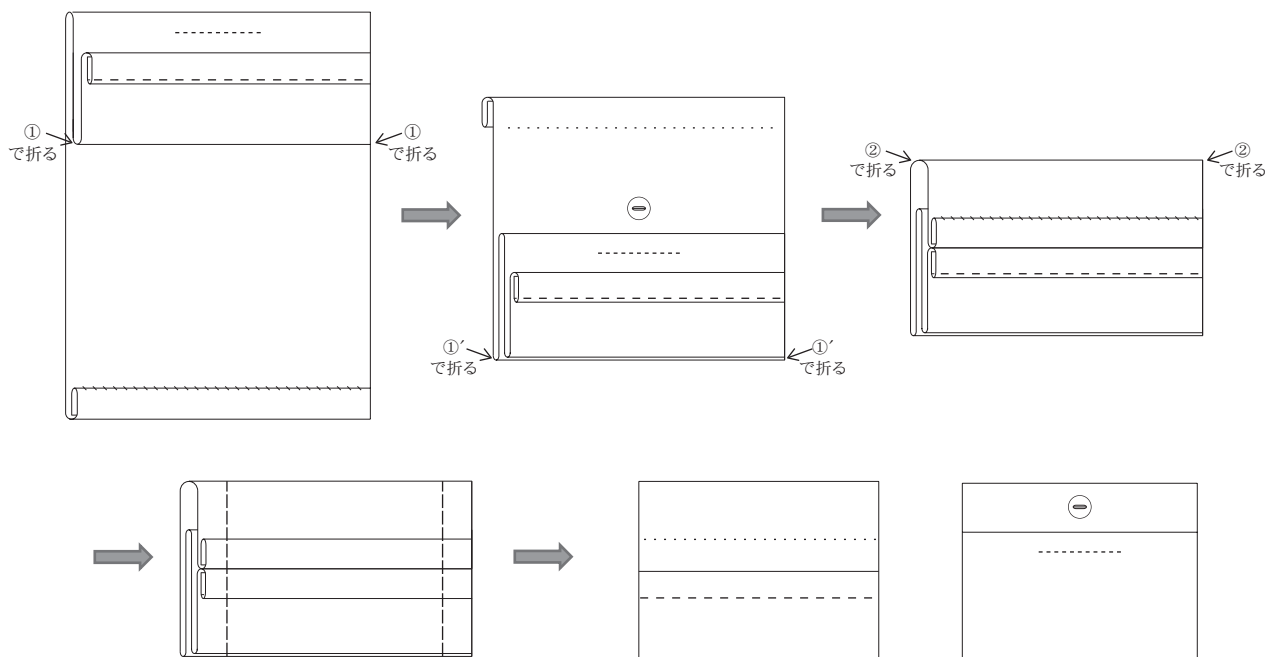
②（山じるし）を折り、ティッシュケース口を合わせる。

まち針でとめる。

わきのしるしを半返し縫いまたはミシンで縫う。

ミシン縫いの場合、縫い始めと終わりは返し縫いをする。

表に返し、形を整える。



(2) アレンジ

・糸ループ

ポケット口の裏から針を入れ、通した糸のそばに針を入れて輪を作る。

親指と人差し指で輪を作り、逆の手で糸を持ち、輪の間に中指を通して糸を引き、親指と人差し指を外して結び目と新しい輪を作る。これを数回繰り返す。

ちょうどよい長さになったら、輪の中に針を通して固定し、裏でとめて完成。

・かんぬきどめ

裏から針を入れ、ケース口をまたいで2～3回縫いとめる。

